

ATTENTION

いくつになっても学び続ける



この二人は、私が撮った、昨年のパークシャー・ハサウェイ株主総会での89歳のウォーレン・バフェット(会長 & CEO)と95歳のチャーリー・マンガー(副会長)です。二人は60年にわたるパートナー。この二人に共通することは、大変な読書家であること。89歳のバフェットはこういいます。「私は、ほとんど毎日じっと座って考えることに、多くの時間を費やすことに固執する。これはアメリカのビジネス界では大変異例なことだ。私は読んで考える。だから私はもっと読み、もっと考える。そしてビジネス界のほとんどの人より、衝動的な決定をしないようにしている。こういう過ごし方が好きだから、そうしている。」マンガーに言わせれば、バフェットはいまでも学び続け、成長しているとのこと。そういう95歳のマンガーも、子供から「本の下に足が出ている」と言わせるほどの読者家です。マンガーは、文学、哲学、歴史、科学など、あらゆる分野の本を読みます。マンガーは「およそ読書をしないうで成功した人を、私は知らない」と言っています。学び続けることは、脳を活性化させ、心身の若さを保ちます。なにより人生を充実させる、最も手っ取り早い方法といえるでしょう。

COLUMN

資産運用アドバイザーの役割とは

お金を増やそうとすると、元本が下がるリスクがついてきます。これが怖いので、資産運用に踏み切れない人は多いでしょう。そこで登場するのが資産運用アドバイザーです。その役割とはなにか。

安全を預かるパイロット

飛行中に乱気流に遭い、機体が揺れたとき、機長が「しばらく揺れますが数分で収まります」とアナウンスすれば、幾分落ち着きます。マーケットでも同じことがよく起きます。信頼できるアドバイザーが「大丈夫です。しばらくしたら落ち着きます。お金の中身は、揺れに十分耐えられるようになっていきます。」と伝えれば、ずいぶん気分は違うでしょう。

具合が悪くなった時の主治医

お金は、自分が汗水たらして生み出したもの、あるいは親や配偶者が遺したものです。それはまさに分身。30年、40年と生きる中で、分身にも安心して診てもらえる主治医が必要です。昔横行した歯医者のように、抜かなくてもいい歯を抜いて、治療費をたんまり取ろうとする医者でしたら、たまりません。それが銀行・証券会社、IFAなのです。

マーケットが上がっても下がっても、一貫した方針で導くパートナー

下がれば不安になり売ってしまい、上がれば少しの利益を取る。これが人間の心理ですが、そこを難なく通り過ぎ、一貫して投資を続けることにより、本来取り込めるリターンをすべて取る。それを実現するために、お客様を導くのがアドバイザーの役割です。

MARKET

(12月末)	(11月末比)
日経平均 23,656.62円	+362.71円 (+1.56%)
NYダウ 28,538.44ドル	+487.03ドル (+1.74%)
米ドル 108.75円	-0.70円 (-0.64%)

今月の言葉

剛健篤実にして、輝光日に新たなり
-易経

剛健篤実 - 障害があっても粘り強く、日々進み、何事も手厚く取り組み、中味と実質を蓄えること。

輝光 - 努力を重ね、日々成長するならば、圧力や障害があっても、必ずその光(徳)は輝いて外に漏れ出る。

75歳まで働くことを視野に

この度、政府は社会保障制度改革の中間報告をまとめました。その内容は、急速に進む高齢化社会に向けた、大きな制度改革です。改革案の中間報告で掲げている「生涯現役で活躍できる社会」に向けて、以下2つの点を挙げています。そして、これらは、それへの対応に我々がいまから心がけておくべきであることを示しています。

1. 希望する高齢者には70歳まで就業機会を与えるよう、企業に努力義務を課す。

現在は希望者に65歳まで企業が雇用することを義務付けていますが、さらに5年延長しようとするものです。雇用形態は、従来の企業での就業の他、再就職支援、起業やフリーランスになり企業と業務委託契約を結ぶ、勤め先が出資するNPO法人への参加など選択肢を広げています。

2. 現在70歳が上限となっている公的年金の受け取り開始年齢を75歳まで延ばせるようにする。

高齢者の働く意欲を後押しする仕組みです。75歳から年金をもらい始めると、65歳支給に比べ、月当たりの年金額は最大84%増えます。

この2点について、若干解説を加えてみましょう。

1. 「70歳まで就業機会を与える」

政府の調べでは、働いている60歳以上の8割は70歳以降も働きたいと希望しているとのこと。70歳以降も十分働けると感じているのです。ということは、いずれ70歳を定年として、希望者には75歳まで就業機会を与えるという雇用形態が、十分視野に入ってきます。これは、10年前では考えられなかったことです。

2. 「公的年金を75歳まで繰り下げ支給に」

この仕組みも、制度として最大75歳まで働ける期間を与えようというもので、勤労意欲を後押しするものです。いわばエンジンをさらに先まで持っていかけた馬のようなものですが、元気で、あとでたくさん食べられるのであれば、全く問題ないと受け止めることができればいいわけです。一方で、先々の世代にとっては、いずれ年金をもらえるころには、現在の65歳から、70歳支給開始への道筋づくりという点があることに用心する必要であるともいえます。

さて、ここで我々が現役時代から心がけておくべき点として次のことが挙げられるでしょう。

・日ごろから資産形成に励み、高齢での就業となっても、その収入に大きく頼らず、ゆとりをもって生活できるように備えておく。

・リタイア後のキャリアを見据え、日ごろから、自分のフィールドを広めておく。具体的には、関心ある分野の勉強、資格取得、社会人講座への参加、ネットワークづくりなど。

・元気で長生きできるように、健康増進に努める。

そして、高齢になって就業している時の心構えとして、次のことが挙げられます。

・ストレスを貯めるような仕事をしない

・楽しんでできる仕事をする

・あまり仕事での収入に頼らない

・健康を最優先する

SEMINAR

びとうファイナンシャルサービス代表、尾藤峰男が教える『こうすればお金の運用で必ず成功する！セミナー』

大切なお金の運用で、本当のことを知るのは大変むずかしいです。預金金利はゼロ、国の年金だけでは足りず、金融機関も利益追求に走っていて、自分自身でしっかりお金を運用する必要があります。高まっています。

このセミナーで、他では絶対に聞けない「お金の運用で必ず成功する方法」を学びましょう。40年の投資経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持ち、金融機関とのしがらみが全くない資産運用アドバイザー、尾藤峰男だから語れる「お金の運用で必ず成功する方法」を伝授します！6名様限定です。お早めにお申し込みください！

日時：2020年1月25日(土) 15:00～17:00

場所：東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F リファレンス会議室

JR有楽町駅 中央西口/日比谷口より1分

東京メトロ有楽町線有楽町駅 D2出口より連絡

東京メトロ日比谷線・千代田線日比谷駅 A6出口より3分

都営三田線日比谷駅 B1またはB2出口より3分

参加費：1,000円(当日支払い)

メールまたは電話にて「1月25日セミナー参加希望」として、ご氏名、ご年齢、ご連絡先をお知らせください。

メール：info@bfsc.jp Tel：03-6721-8386



- どうしたら株式投資で最も成功するか
- 本当に正しいお金の運用法とは
- もっとも効率的にお金を増やす方法とは
- 国際分散投資はどうやったらいいか
- よい金融商品の選び方
- 証券会社や銀行にだまされないために
- お金に困らない老後の安心を確保するために
- NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)の活用法
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386 FAX: 050-3156-1072
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp